

《担当者名》竹生 礼子 [take-r@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

在宅看護論の学修成果を踏まえて、学生の関心領域における先行研究や基盤となる理論を検討し、自己の研究課題を明確にするための研究計画を立案、フィールドでの予備調査・実験を行う。

【学修目標】

自己の研究課題を見出し、研究計画を立案することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1～10	研究課題の絞込みと明確化	学生の関心領域における先行文献のクリティークをもとに、種々な研究方法とその成果を検討し、研究動向を把握する。また、学生の関心領域における研究課題を見出す。	竹生
11～20	研究方法の検討 1	学生の研究課題を明らかにするための研究方法を選択、研究計画を立案する。	竹生
21～30	研究方法の検討 2	前述の研究計画にもとづいて、予備調査、予備実験を行い、その結果を基に研究方法の妥当性を検討する。	竹生

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

文献検討(50%)、計画作成(30%)、予備調査・実験の実施(20%)

【教科書】

なし

【参考書】

随時提示する。

【学修の準備】

事前に指定された課題に沿ったプレゼンテーションの準備をして講義に臨む。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、深い学識と高度な実践力、指導的役割の発揮力を修得するという看護学専攻博士後期（博士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。